

2014年度 後期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科								
科目名	建築プレセミナー								
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	3年次後期				
必修・選択の別	必修科目(建築工学コース)／必修科目(建築コース)								
担当者	小池 博								
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・指定されたテーマについて、自主的に調査、整理、考察をして、その結果を文章、あるいは図面や作品などの形にまとめることができる。(A6) ・テーマに関する自分独自の意見を、文章や図、模型などを活用して、わかりやすく他人に説明することができる。(A6) ・テーマに関して討論し、他人と意見交換をすることができる。(A6) 								
日程と内容	<p>ゼミの内容や勧め方は学生の自主性を尊重して学生と指導教員との話し合いで決定する。 3年次前期中に所属研究室を内定する。 後期の授業開始後は所属研究室の教員の指導に従ってゼミを進める。 建築・デザイン学科の専門分野のプレセミナーは以下の通りである。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>[建築構造分野] 津田研究室：建築構造 [建築生産分野] 河上研究室：建築施工 [建築環境分野] 依田研究室：建築都市環境工学</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>[建築計画分野] 井原研究室：建築計画 益田研究室：住宅計画 小池研究室：建築設計 [環境デザイン分野] 金子研究室：空間デザイン</p> </td> </tr> </table> <p>注) デザイン系コースの「環境デザイン分野」に所属することもできるが、この分野はデザインコースからも配属されるので受講人数が制限される場合がある。</p>							<p>[建築構造分野] 津田研究室：建築構造 [建築生産分野] 河上研究室：建築施工 [建築環境分野] 依田研究室：建築都市環境工学</p>	<p>[建築計画分野] 井原研究室：建築計画 益田研究室：住宅計画 小池研究室：建築設計 [環境デザイン分野] 金子研究室：空間デザイン</p>
<p>[建築構造分野] 津田研究室：建築構造 [建築生産分野] 河上研究室：建築施工 [建築環境分野] 依田研究室：建築都市環境工学</p>	<p>[建築計画分野] 井原研究室：建築計画 益田研究室：住宅計画 小池研究室：建築設計 [環境デザイン分野] 金子研究室：空間デザイン</p>								
成績評価基準	定期試験 臨時試験 報告書・レポート 課題 演習		70%	実技 部外評価 プレゼンテーション		計 100%			
授業到達目標の達成度	本科目はゼミ形式で行う少人数制の科目であるため、比較出席率、課題提出率もよく、合格率も95%に達している。合格者の内訳も3名が「可」で残りは全て「良」以上であった。以上より、授業到達目標は概ね達成できたと判断できる。								
反省点	不合格者3名のうち、1名はほぼ全欠席だが、2名に関しては講義中途からの欠席が目立った。他の学生に対してモラルハザードにならないように注意しながらも、ゼミ室変更も視野に入れた対策が必要と思われる。								
来年度の計画	就職活動が3年次の3月に解禁されることもあり、本講義の就職活動における位置づけも重みを増した。そのことにゼミ自体が引っ張られてしまう必要はないが、問題発見の過程で、ある程度意識させる方向で指導していきたい。								
授業評価アンケートに対するコメント	全体的に平均値より高い評価を得た。「時間が短かった」とコメントがあったが、やる気の裏返しであり、ネガティブなコメントではなかった。また、「就職」に対しての本講義の重要性をコメントする学生が数名おり、今後、教員側でもなんらかの意識付けが必要かと思われる。								
履修登録者数	55名	定期試験 受験者数		合格者数	52名	合格率	95%		